

## 不具合の内容

- 大・中型バスの車両床下部（フロントタイヤハウス部又はリヤタイヤハウス部）において、適切な点検・整備が実施されていないため錆が発生して腐食が進行すると、部材の板厚の減少や穴あきに至り、強度低下による破断・破壊が発生します。
- 特に、独立懸架車において、フロントタイヤハウス部のセンターメンバーが腐食すると、最悪の場合、ロアアームが脱落してハンドル操作が不能となります。これまでハンドル操作不能の不具合情報は 8 件あり、人身事故が 3 件発生（※）しています。

【※】平成 25 年 11 月 1 日発生（乗客 5 名軽傷）、平成 26 年 10 月 24 日発生（巻き込んだ車両の運転手軽傷）、平成 27 年 11 月 12 日発生（乗客 1 名重傷、6 名軽傷）

## 独立懸架車の不具合の例

センターメンバーが腐食するとロアアームが脱落しハンドル操作が不能となる。

